

会 議 録

1 会議名

第12回上越市クリーンセンター生活環境保全協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

ア 令和2年度上越市クリーンセンターの運営状況について

イ 令和2年度環境測定結果について

(2) 意見書提出（公開）

3 開催日時

令和3年12月24日（金）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面で開催

4 開催場所

—

5 傍聴人の数

—

6 出席した者（敬称略）

・委員：山縣 耕太郎、清水 忠明、白木 朝雄、卷内 勉、西條 榮市、
吉田 文雄、小山 秋美、濱田 雅巳、武田 徹

7 発言の内容

【議題1】

（濱田委員）

○発電量、売電量、薬品使用量（消石灰、活性炭等）の総量と共に、ごみt当たりの量を経年で調査すると、何らかの傾向が把握できるかもしれない。

（事務局）

○経年データにより傾向を把握し状況分析を行います。

○令和2年度のごみt当りのグラフは、添付資料-1のとおりです。

○令和2年度の傾向として、消石灰使用量は4月、5月、9月が多く、活性炭は一定となっています。

○消石灰使用量の増加要因は、ごみピット残量の推移から、底ごみ（ごみピット下部の圧縮されたごみ）を焼却した影響と分析しています。

(濱田委員)

○稼働年数が進む中、故障履歴や補修履歴についても確認してはどうか。

(事務局)

○施設稼働から5年となり、故障履歴や補修履歴を蓄積しています。分かりやすい形でお示しできるよう検討します。

(濱田委員)

○資料1のP21、2号炉の2020年10月だけ数値が出ているが、理由はあるか。

(事務局)

○ばいじん濃度の換算値は、実測値が定量下限を下回る場合、定量下限を下回ったことを示す(未満)の表記を換算値に付記しています。

○令和2年10月の2号炉のばいじん濃度実測値は、 $0.001\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ と定量下限でなかったことから、換算値は $0.0009\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ となっています。

(清水委員)

○適切に運営されており、排ガス性状も十分クリーンなものとなっている。

○排気中水銀は、元々搬入されたごみ中の含水銀製品に由来するものであり、これが十分低いことは、市民によるごみ中の不適物混入防止がよく行われている証左である。

○市民の協力を引き続き仰ぎたい。

(事務局)

○ご指摘のとおり、排気中水銀が低い理由は、市民の皆さんのご協力によるものと考えています。

○今後も引き続き、ごみの分別周知を図ってまいります。

(清水委員)

○資料1のP38、「環境基準」は、「排出基準」と思われる。

(事務局)

○ご指摘のとおり「排出基準」が正となります。

(武田委員)

○ごみ受入量(約51千トン)と焼却量(約53千トン)の差の理由は、

(事務局)

○施設内で発生する排水処理設備の濃縮汚泥(1日に2~4t程度発生)や、前年度に受入れしたごみを焼却処理したため、ごみ受入量より焼却量が多くなっています。

(武田委員)

○ごみ受入量（月別）の3月が昨年と比べて増加しているが、その主な理由は。

（事務局）

○令和3年1月の豪雪により折れた枝木が、雪解け後の2月下旬から排出されたため、前年度を大きく上回る実績となっています。

（武田委員）

○発電効率の算出方法と例年との比較が分かれば提示願いたい。

（事務局）

○発電効率は、次の計算式で算出しています。

○発電効率[%] = ごみ発電量[kWh] × 3600[kJ/kWh] × 100 ÷ (低位発熱量[kJ/kg] × ごみ焼却量[kg])

○発電効率の過去との比較は、添付資料-2のとおりです。

（吉田委員）

○職員の対応もよく、気持ちよく利用させていただいている。

（事務局）

○引き続き快適にご利用いただけるよう業務の品質向上に努めてまいります。

【議題2】

（濱田委員）

○資料2のP5、7月と11月の騒音値が高い理由は。

（事務局）

○7月は、測定時に虫の鳴き声の影響により騒音値が上昇しています。

○11月は、鳥の鳴き声と強風の影響で騒音値が上昇しています。

（濱田委員）

○資料2のP11、地点2の7月の振動値が高い理由は。

（事務局）

○旧清掃工場の除却工事の影響により振動値が若干増加したものと分析しています。

（濱田委員）

○資料2のP15で、下五貫野地内の土壌中ダイオキシン類濃度について、過去と比較してどうか。

（事務局）

○7月の測定値は、変動がありますが、基準値を大きく下回っています。

○11月の測定値は、大きな変動はありません。

○過去との比較は、添付資料－３のとおりです。

(清水委員)

○クリーンセンター周囲の環境は、適切な水準であり、問題ない。

(事務局)

○周辺環境を良好に維持するため、引き続き、クリーンセンターを適正に運営してまいります。

8 問合せ先

自治・市民環境部生活環境課ごみ焼却係 TEL：025-526-5111（内線 1020-4122）

E-mail：seikatsu@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。